

令和3(2021)年度栃木県職員功績賞(知事表彰)

6件

部局名	現所属	担当等名又は氏名	功績内容
1 総合政策部	総合政策課	○主幹 船木 優子 ○政策調整・地方分権担当 ・蓼沼 正樹 ・鶴見 吉和(デジタル戦略課本務) ・酒巻 尚行 ○政策企画・地方創生担当 小野 悟 ※所属・担当名は業務当時のもの	●東京2020オリンピック競技大会における選手団の事前キャンプ受入れ及びパラリンピック聖火フェスティバルの実施について 〔その他顕著な功績〕 ハンガリー選手団の事前キャンプの受入れ及びハンガリーを含む4カ国のキャンプ受入れ市の取組を支援した。 コロナ禍での未曾有の開催となった今回のオリンピックであったが、感染対策を徹底し、感染者を出さず選手団を送り出した。 また、東京2020パラリンピック聖火フェスティバルについて、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら市町等と調整を進め、実施方法を見直すなど臨機応変に対応し、成功を収めた。
2 環境森林部	気候変動対策課	カーボンニュートラル推進担当 (6名)	●2050年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップの策定について 〔重点事業等への取組〕 2050年とちぎカーボンニュートラルの実現という非常に高い目標の達成に向け、「とちぎカーボンニュートラル実現会議」を立ち上げるなど、各界の代表者から幅広く意見を伺いながら、本県の特性を踏まえた、独自のロードマップを策定した。 2030年までに温室効果ガス排出量を2013年度比で50%削減するという高い目標の実現に向けた分野ごとの削減目標や4つの重点プロジェクトなど、本県の取組の方向性を分かりやすくまとめ、持続可能で力強い「新しいとちぎ」を創るための礎を築いた。
3 産業労働観光部	国際課	国際戦略推進担当 地域国際化担当 旅券担当 (16名)	●ベトナム首相訪問団・企業訪問団の受入れについて 〔重点事業等への取組〕 本国に影響力を有する駐日大使等に県産品、県産農産物等をPRし、海外展開の一助とする「とちぎ型大使館外交」に取り組んだ成果として、11月にベトナム国ファム・ミン・チン首相と政府高官による訪問団及び企業訪問団の来県が実現した。 知事と首相による会談や経済フォーラム等の各種プログラムを効果的に実施したことにより、ベトナムでの本県知名度の向上や今後の経済交流等の促進に大きく貢献した。
4 県土整備部	河川課	企画治水担当 (8名)	●「流域治水」の推進について 〔重点事業等への取組〕 令和元年東日本台風による甚大な被害を踏まえ、引き続き想定される気候変動の影響による水災害の頻発化・激甚化に対応していくため、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む治水対策「流域治水」を先進的に推進することとし、庁内関係課や市町と連携しながら、行政、企業、県民等の水災害軽減に向けた取組を「栃木県流域治水プロジェクト」としてとりまとめ、他の都道府県に先駆けて公表した。 併せて、本プロジェクト推進のための組織を設立するとともに、プロジェクトの更なる普及啓発に向けた道筋をつけた。
5 国体・障害者スポーツ大会局			●いちご一会とちぎ国体冬季大会の開催について 〔重点事業等への取組〕 コロナ禍にあって、8年ぶりの本県開催となる冬季大会において、局一丸となって安全安心な大会運営に万全を期し、全競技の実施を成功させた。 選手の日々の練習の成果を発揮する機会を提供するとともに、原則無観客の開催となるも全試合をインターネット配信し観戦機会を確保したほか、各競技会場等で県産品の配布や式典での歓迎アトラクション等によるおもてなし、環境配慮の取組等を通じて本県の魅力・実力を発信した。
6 教育委員会事務局	文化財課	調査担当 (4名)	●「いにしへのとちぎ発見どき土器わく湧くプロジェクト事業」の実施について 〔重点事業等への取組〕 水戸光圀により日本最初の学術的発掘調査が行われた侍塚古墳の発掘調査を開始し、素早く調査成果や文化財の価値を公表していくことで、報道機関に取り上げられる機会を増やし、埋蔵文化財への関心を高め、ひいては本県魅力の発信・郷土愛の醸成・地域活性化にも貢献した。